

「開倫塾12の躰(しつけ)プログラム」を身に着けよう

—各教科の知識と同時に躰も身に着けよう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 開倫塾には「12の躰プログラム」があるそうですね。

A : (林明夫。以下省略)はい。

(1)開倫塾の「高い倫理」という教育目標を具体的にお示ししたのが、「12の躰プログラム」です。

(2)毎月1つずつ、少しずつでよいですから挑戦してみてください。

(3)教科の勉強と同じように、学校でも社会に出てからも役に立つことばかりです。

Q 2 : どのような内容ですか。

A : **4月** 靴は手でそろえる

5月 自分で使った椅子と机をそろえる (自分で出したゴミはすべて持ち帰る)

6月 整理 (いらないものを捨てる)

7月 清掃 (整理をしたら、その後をきれいに掃除する)

8月 整頓 (物はいつも同じところに置く)

9月 新聞を毎日読む (エッセイや意見文を書く)

10月 読書に励む (詩や物語を書く)

11月 辞書を活用する (哲学する)

12月 収入の範囲で支出する (1年を振り返る)

1月 自覚をもって学ぶ (新年の目標を決める)

2月 学習の仕方を身に着ける

3月 自分の将来を考える (自分の未来は自分の力で切り開く)

Q 3 : ところで、躰とは何ですか。

A : 躰とは何かについて、いろいろな考えがあります。私は次の3つが大切と考えます。

(1)自分から進んで行うこと

(2)美しい立ち居振る舞い(たちいふるまい)

(3)敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)

Q 4 : 開倫塾の塾生として身に着けたほうがよいことは、12の躰のほかにありますか。

A : はい、たくさんあります。例をあげてお示ししますので、開倫塾以外でも、是非、挑戦してくださいね。

(1)まずは、先生や塾生に元気なあいさつをする

(2)トイレは授業の前に済ませる

- (3)授業中は、手を机の上に置き、先生の目を見て話を聞く
- (4)授業中は、おしゃべり・居眠り・徘徊をしない
- (5)先生には「です・ます」調で話す。ぞんざいな話し方をしない
- (6)飲み物や食べ物は、机の上に置かない。鞆(かばん)の中に入れておく
- (7)机の上の消しゴムのカスは、自分のティッシュペーパーでまとめて持って帰る
- (8)鼻をかんだ紙や計算用紙などは自分で持って帰り、自宅で捨てる(自分で出したゴミは教室に残さない)
- (9)授業後は、自分で使った椅子と机を元の位置に整える。椅子は机の下にきちんと戻す
※まわりの椅子と机も整える
- (10)授業が終わったら、元気にあいさつをして帰宅する
- (11)自転車には必ずカギをかける。ライトをつける

Q7：最後に一言どうぞ。

A：(1)食事をするときには、全員が着席するまで手をつけない

(2)食器を置くときは、音を立てない

(3)ごちそうをしてもらったときには、必ず手を前にそろえてお礼のあいさつをするなど、食事のマナー、躰もあります。

※勉強がよくできるというのは、テストでよい点数を取ったり、希望する学校に入学を果たしたりすることだけではありません。今回、お話したような躰を身に着けることも大切な勉強です。少しずつでよいですから、挑戦してくださいね。

2016年3月6日(日)記

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)